

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	鶴ヶ峰もえぎ (単位2 : さくら)		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 20日		~ 2024年 10月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年 9月 20日		~ 2024年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全利用者から支援に満足いただいている	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管を中心に児童、保護者へ定期的に面談をおこなひ、ニーズを適切に捉えることを意識している ・子ども会議を実施し、子どもから意見を抽出している 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの気持ちに寄り添い、理解し、特性に応じた専門性のある支援を、今後も提供していく
2	業務改善のためのPDCAサイクルが確立されている	<ul style="list-style-type: none"> ・朝・昼・夕とミーティングの時間を設け、目標設定／振り返りの体制が整えられている ・月に2回、クラス内運営会議、支援会議等で見直しがおこなえる環境になっている ・職員が希望する外部研修に参加できるよう組立している 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の得意分野をさらに支援に役立てていただけるよう、今後もミーティングの機会の確保、適宜職員研修・職員面談を進めていきたい
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援・きょうだい児への支援が不足している	<ul style="list-style-type: none"> ・育児相談を受けることへの不安 ・実施のタイミングが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングについての研修を受講する ・心理面でのケアの方法を学ぶ研修に参加する ・予め年間の計画の中に実施の予定を盛り込み、事前に準備を進める
2	地域の児童とかかわる機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童と関わりを持つようとする積極性 ・職員の経験が浅く、提案力・企画力が弱い ・児童間トラブルの懸念 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間2回の地域イベントの経験を積み重ねていくながら、地域の児童と関わるにはどんな内容が良いのか？考え、回数を重ねる毎により多くの児童に足を運んでもらえるよう企画していきたい ・イベントの実施に向けては安全性に配慮していく ・発信の方法はHPやSNSなども運用を進めていく
3			